

環境と人間

海のふしぎ - 海と人との関わり -

授業概要

海洋をキーワードにして、海洋生物とその生活の場である海洋環境に関する基礎を学び、海洋生物のユニークな生態や形態を理解する。漁業を含めた人間活動と海洋生物との関係、地球温暖化を含む地球規模での気候変化が海洋生態系に与える影響と対策を理解する。

到達目標

この授業では、海洋生態系の構造と機能、海洋生物の生態や形態から動物行動を理解すること、漁業を含めた人間活動と海洋生物との関係、地球温暖化を含む地球規模での気候変化が海洋生態系に与える影響と対策を理解することを目標とします。

成績評価

受講態度（出席状況など）および学期末の試験によって評価する。出席率60%以上に限り試験を受けることができる。



綿貫 豊 他 13 名

北海道大学大学院水産科学研究院 教授

授業計画

- 1) 必要に応じ学生の理解を助ける資料を配布して講義を行う。
- 2) 本講義は、海洋に関する多様な分野のイントロダクションであり、適宜推薦図書を紹介する。
- 3) 授業時には、適時こちらから質問を投げかけて受講者の理解の確認を行うとともに、受講者からの質問を促し、双方向的な講義を行う。また、講義後のメールでの質問も受け付ける。

授業内容	担当教員
① ガイダンス+「海鳥の目で海を知る」	・・・ 綿貫 豊
② 「気候変化と漁業資源」	・・・ 山村 織生
③ 「カレイの生活史」	・・・ 高津 哲也
④ 「魚の形の不思議」	・・・ 未定
⑤ 「ヤドカリの行動生態」	・・・ 和田 哲
⑥ 「イカ・タコの驚異の知能と行動」	・・・ 山本 潤
⑦ 「海の巨大な渦の不思議」	・・・ 上野 洋路
⑧ 「海獣類の生態と保全」	・・・ 三谷 曜子
⑨ 「サケの世界」	・・・ 清水 宗敬
⑩ 「プランクトンの世界」	・・・ 松野 孝平
⑪ 「海をめぐる人間と生き物の関係」	・・・ 藤森 康澄
⑫ 「宇宙から見た海洋」	・・・ 齊藤 誠一
⑬ 「クジラの世界」	・・・ 松石 隆
⑭ 「海の生産を支える化学の世界」	・・・ 大木 淳之
⑮ 期末試験	・・・ 綿貫 豊